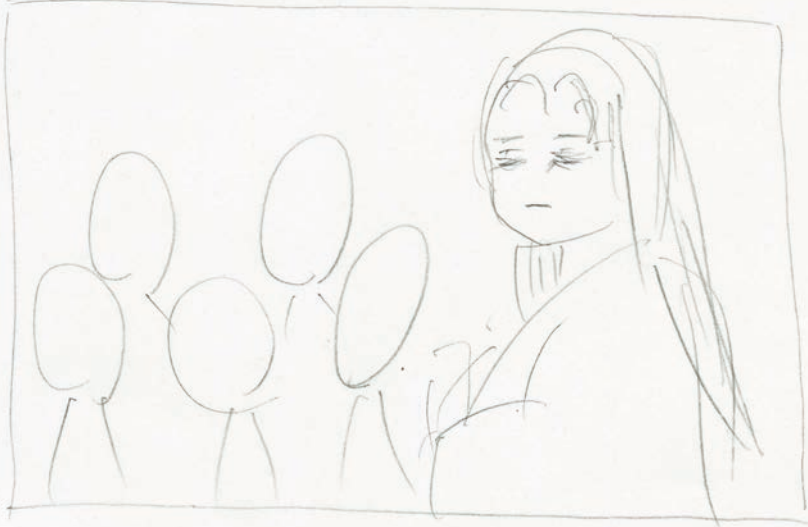


おじいさんとおばあさんが
いました。
おじいさんとおばあさんが山で
竹を切っていると中から
女の子があらわれました。
「ねんとかわい子じや！」
ふたりはその子を大切に育てました。



美しく育ち
たはくの人たちが
みぶんの高き山々の
~~男~~ 求娘 いて
きました。



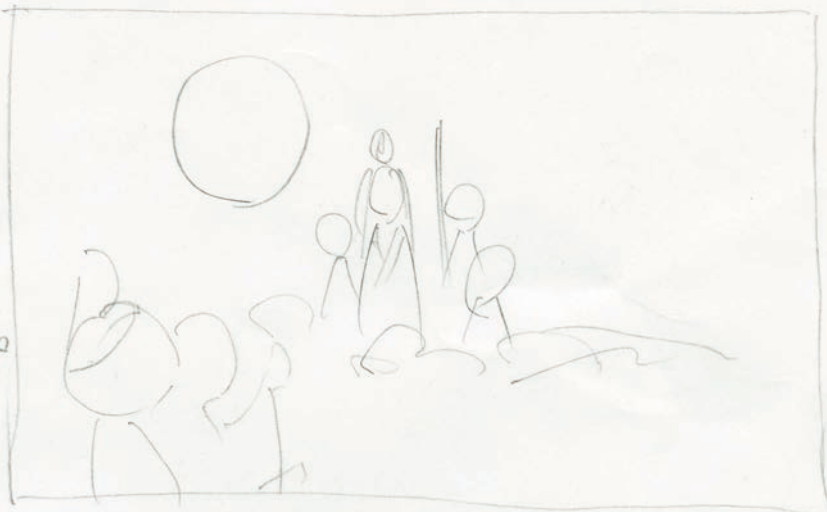
しかし、あえなく
玉碎。

秋になり

夜空に月がかがやく
よらになると、かぐや
ひめは涙を流すように
なりまじ。
かぐやひめは 15夜の
満月の夜に月へ
帰らなければならぬの
です。



さて、
15夜の満月の夜が
来ました。帝の家来達
が必死に守りましたが、
かぐやひめは月からの
つかいと帰ってしまいました。



おしまい